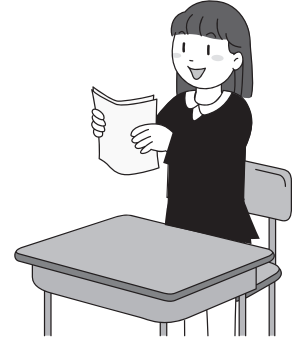


I-4 発言（考え）の取り上げ方

先生、つなげて考えていくことが大事なんだ！

☆ なぜ全体の場で発言させるのか？

- 集団としての学びを高めるだけでなく、個としての学びを高めます。
 - ・ その個の考えが修正され、確かなものとなる。
 - ・ その個の考えのよさが学級全体に認められる。
 - ・ 学習意欲が旺盛になる。
- 個としての学びを共有することにより、集団としての学びを高めます。
 - ・ 友達の意見と比べることにより、一人一人の考えが深まる。
 - ・ 話し合うことで理解が深まり、みんなで考える態度が育つ。
 - ・ 協調的、探究的な学級の雰囲気ができる。



☆ 発言を取り上げ、学級みんなのものにするのは、教師の役割

- ① 子どもの発言は顔を見て聞く。
 - ・ 「うーん、なるほど。」「そうかもしれないね。」
- ② 発言のよさを的確に評価し、授業に生かす。（内容、態度）
 - ・ 「〇〇さんの意見とつないで考えたんですね。」
 - ・ 「資料を活用して考えられましたね。」
- ③ 発言に対して、意見を促す。
 - ・ 「〇〇さんの意見について、聞きたいことや、つないで話したいことはありますか。」
- ④ 発言者の考えを他の子どもの思考の材料にする工夫をする。
 - 意見の背景や根拠を考える。
 - ・ 「〇〇さんは、どうしてこのように考えたのでしょうか。」
 - それぞれの意見の相違を考える。
 - ・ 「〇〇さんと□□さんの考えはどこが違うのでしょうか。」
 - 分類して比べる。
 - ・ 「〇〇さんの考えとよく似ているのは、どの意見ですか。」
 - 意見を修正してよりよいものにする。
 - ・ 「〇〇さんの意見をもっと具体的にするには、どうすればよいでしょうか。」
 - それぞれの意見をまとめて考える。
 - ・ 「〇〇さんと□□さんの発言をまとめると、どのようなことですか。」



「教室はまちがうところだ」！

「まちがうことを おそれちゃいけない まちがったものを ワラっちゃいけない まちがった意見を まちがった答えを ああじゃあないか こうじゃあないかと みんなで出しあい 言い合うなかでほんとのものを見つけていくのだ そうしてみんなで 伸びていくのだ」(蒔田 晋治作 抜粋)
友達の発言を嘲笑したり冷やかしたりすることを絶対に許さない姿勢が大切です。

わん！ポイント！

